

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study III		1	0003-01	2期(後学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	<p>修学する専門領域を理解し、学習目標の設定と達成のための計画を設計し、自己実現に向かって積極的に行動する態度を身につけることができる。入学後の修学・生活を自省し、以後の修学意欲を高め、キャリアデザインを形成することができる。学習や生活に取り組む態度と方法の重要性を「キャリアポートフォリオ」「修学ポートフォリオ」「達成度自己評価ポートフォリオ」の作成や自己管理と共同の実践を通して認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動を継続することができる。</p>							
2	修学設計								
3	キャリアデザイン								
4	日本語表現力								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、KITポートフォリオ(web上)に入力することによって、自己管理を身につける。</p> <p>2. 進路部長講話と講話「キャリアデザインとは」を聴講し、キャリアデザインの基本事項を知るとともに、自らの将来展望について考えるきっかけとする。</p> <p>3. 工大祭のときに、自己の所属する学部・学系・学科の研究室を調査し、専攻選択とキャリアデザインを考える。その結果を、個人やグループで討議を行い、グループ発表を行う。学科によっては研究室概要の説明会を開催する場合がある(別途案内)。</p> <p>4. 担当教員独自の多様な自由講義演習を実施する。</p> <p>科目のホームページを必ず見ること。<a href="http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/">http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/</a> レポートは指定されたフォーマットを厳守して作成すること。 出席・提出物の締切を守ることは、特に厳しく評価する。</p>									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書：修学基礎2010[金沢工業大学]									
参考書：指定なし									
リザーブブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実践する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
A,B		1週間の行動履歴を作成し、今学期前半の達成度評価と今学期後半の目標と対応を文章で報告することができる。							
A,B		講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
A		グループ討議を通して問題点を見出し、自己の見解を口頭および文章で表現することができる。							
A		研究室を調査し、専攻の動機づけを行い、キャリアデザインや将来の展望を文章で報告することができる。							
A		自己分析を行い、キャリアデザインシートを作成できる。							
A,B		本科目における「学生の達成すべき行動目標」の達成度を自己評価できる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポートフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	47	13	0	24	16	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	18	0	0	0	0	18
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	5	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	9	8	0	0	0	17
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	0	0	0	24	16	40

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

## 評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	
試験			
クイズ 小テスト			
レポート		課題 小論文B「小論文コンテスト草稿」(8点)	
	レ	課題 聴講ノート(6):進路部長講話(8点)	
		課題 学習シート(5)(5点)	課題 聴講ノート(5):キャリアデザイン(8点)
	レ	課題 模擬エントリーシート(4点)	課題 研究室調査用紙(5点)
	レ	課題 小論文コンテスト本稿(4点)	課題 キャリアデザインシート(5点)
成果発表 (口頭・実技)		課題 グループ討議メモ用紙(3)(5点)	
		課題 プレゼンテーションの成果(2)(8点)	
	レ		
	レ		
作品			
ポートフォリオ		「1週間の行動履歴」2点×8回 教室で授業毎に提出	
	レ	課題 後学期秋の達成度自己評価(8点)	
	レ		
	レ		
その他		出席(出席2点×8回、10分までの遅刻は1点、それ以上の遅刻は出席回数を認めるが0点とする。)	
		多目的ホールでの講話の欠席者・遅刻者は、後日ビデオを視聴する。	
	レ		
	レ		

## 具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を記録し、自省することにより、次週への目標を明確に記すことができる。</p> <p>講話を聴きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らし合わせながら講話の内容をまとめることができる。</p> <p>自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて述べるができる。</p> <p>自己分析を通して、自己のキャリアデザインを明確にでき、キャリア形成への積極的な態度を身につけている。</p> <p>本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、明確に記すことができる。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。</p> <p>講話の内容を箇条書きでまとめることができる。</p> <p>他者の意見を聞いてまとめることができる。</p> <p>自己分析を通して、自己のキャリアデザインを描いている。</p> <p>本科目における学生の達成すべき行動目標を自己評価し、記すことができる。</p>

## 授業明細表

## CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行ってください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1・2 /	<p>進路部長講話(外崎 明教授) 講話「本学におけるキャリアデザインのための援助」を聴講し、今後の進路選択について、具体的な方向性を考える。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック</p>	<p>講話を聴講しメモを取る。 メモに基づいて自分の考えを聴講ノートにまとめる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する。</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 小論文B「小論文コンテスト草稿」(1500~2000字) 2部提出する。 ・課題 聴講ノート(6) : 進路部長講話 時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 学習シート(5) : テキストの該当箇所をまとめる。</p>	30 60
3・4 /	<p>講話「キャリアデザインとは」(担当講師は未定) 講話を聴講し、要点をまとめることによって、キャリアデザインに関する基本事項を知り、今後の進路選択について自ら考えるきっかけとする。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、小論文作成の手引き</p>	<p>講話を聴講しメモを取る。 メモに基づいて自分の考えを聴講ノートにまとめる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する。</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 学習シート(5) ・課題 聴講ノート(5) : キャリアデザイン 時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 模擬エントリーシート</p>	30 60
5・6 /	<p>研究室調査の準備 研究室のホームページや「入学案内」などから、専門選択のための情報を収集整理する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、ノートパソコン、LANケーブル</p>	<p>指定教室での講義・演習 収集整理した研究室についての情報をまとめる。</p> <p>【提出物】 ・課題 模擬エントリーシート ・1週間の行動履歴</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 研究室調査用紙 収集整理した研究室についての情報をまとめる。</p>	30 60
7・8 /	<p>興味を持った研究室についてのグループ討議 興味を持った研究室について班のメンバー間で意見交換し、他者の意見を聴くことにより、自らの専門分野の選択について具体的に考える。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、ノートパソコン、LANケーブル、研究室調査用紙</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・討議内容を課題「研究室調査用紙」にまとめる。</p>	30 60
9・10 /	<p>工大祭後のグループ討議 研究室訪問を行った場合はその内容を、研究室公開がなかった場合は前回の討議の内容を、自らの進路選択と照らし合わせて討議する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、ノートパソコン、LANケーブル、研究室調査用紙、グループ討議メモ用紙</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 研究室調査用紙</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 小論文コンテスト本稿 返却された草稿の添削を参考に、推敲する。 ・課題 グループ討議メモ用紙(3)</p>	30 60 60
11・12 /	<p>研究室紹介を終えてのグループ発表 前回のグループ討議をまとめたものを発表し、クラス内で議論する。なお、発表は「課題 プレゼンテーションの成果(2)」として採点対象となる。</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 キャリアデザインシート</p>	30 60

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
	<p>【持参物】 修学基礎2010・キャンパスノート・カリキュラムガイドブック、ノートパソコン（発表のため）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題 小論文コンテスト本稿</li> <li>・課題 グループ討議メモ用紙(3)</li> </ul>	<p>課外時間にグループ討議や発表を参考にして自らのキャリアデザインをまとめて、web上に入力し印刷して提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題 小論文C「関心のある専門領域と将来の進路選択」 2部提出する。 この課題の評価は『修学基礎』に含める。</li> </ul>	90
13・14 /	<p>修学アドバイザーによる自由講義・演習</p> <p>【持参物】 修学アドバイザーが指示するもの</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の行動履歴</li> <li>・課題 キャリアデザインシート</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の行動履歴を作成する。</li> <li>・修学基礎HPで、授業アンケートに回答する。</li> <li>・課題 後学期秋の達成度自己評価 web上に入力し、修学アドバイザーが指定する日時に提出する。</li> </ul>	30 30 60
15・16 /	<p>自己点検授業 『修学基礎』の科目ガイダンス 学習支援計画書などによりこの科目で身につける能力を理解する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010</p>	<p>自己点検授業 出席と課題提出の状況を確認し自らの成果を確認・反省する。</p> <p>【提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の行動履歴</li> </ul>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間の行動履歴を作成する。</li> </ul>	30